

コンピュータ概論 A/B

-- MS-Word --

数学科 栗野 俊一 (TA: 浜津 翔 [院生 2 年])

2014/12/09 コンピュータ概

伝言

私語は慎むように !!

□ 席は自由です (出席パスワード : 20141209)

○ できるだけ前に詰めよう

○ 教室にきたら直ぐにやる事

▶ PC の電源 On / ネットワーク接続 / Web を参照する / skype を起動する

□ 色々なお知らせについて

○ 栗野の Web Page に注意する事

<http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino>

□ 次週(2014/12/15)は「補習」はありません

□ Local Server

▶ 10.9.209.128 (VNC) : 画面の操作を見ることができます (PW : vnc-2014)

▶ 10.9.209.88 (Web) : 普段のサーバより速いはず

今後の予定

□ 今後の予定(後ろから)

○ 2015/01/27 (講義最終日)

▶ 試験を行う

○ 2015/01/20 (試験前)

▶ 模擬試験を行う

○ 2015/01/13

▶ 講義最終日

○ 2015/01/06, 2014/12/30, 2014/12/23

▶ 冬期休暇期間中, 天皇誕生日 (祝日): この間、講義はない

○ 2014/12/16

▶ 通常講義 (MS-Office 関連)

○ 2014/12/15 : 補習しません

○ 2014/12/09 (本日)

▶ MS-Word

前回(2014/12/02)の内容

□ 前回(2014/12/02)の内容

○ プレゼンテーションとは

- ▶ 「情報」の提示の仕方(メタ情報を提示)
- ▶ 「説得」の技術(「感情」にも訴える⇔「理性」に訴える: 証明)
- ▶ 習得可能(すべき)な技術: 先ずは、真似から始よう

○ PowerPoint の使い方 (基本だけ../最後はオマケ)

- ▶ 表紙/箇条書/図・絵/式/アニメーション

○ 数式の入力(TeXCrop)

- ▶ TeX の式を画像に変換するサイトの利用

本日(2014/12/09)の予定

□ 講義

- MS-Word の基本

□ 実習

- [演習 1] 講義資料の配布 (skype を使います)

- ▶ 資料は講義外配布禁止です (他の人にコピーしない事 !!)
- ▶ 暗号フォルダ形式(TrueCrypt) です
- ▶ skype で配布します (パスワードは講義中に提示します)

- [演習 2] MS-Word から PDF 形式への変換

- ▶ [File] → [Export] → [pdf 形式で保存]

- [演習 3] 課題の作成

- ▶ 講義資料に従ってパンフレットを作成する
- ▶ 課題は MS-Word で作成し、それを提出 (docx 形式で良い)

本日の課題 (2014/12/09)

□ 前回 (2014/12/02) の課題

○ 次のファイルを提出しなさい

- ▶ 表題 : PowerPoint の基本
- ▶ ファイル名 : 20141202-QQQQ.pptx (QQQQ は学生番号)
- ▶ 詳しくは、配布した sample-20141202.pptx の内容を参照

□ 今回 (2014/12/09) の課題

○ 次のファイルを提出しなさい

- ▶ 表題 : MS-Word でパンフレット作成
- ▶ ファイル名 : 20141209-QQQQ.docx (QQQQ は学生番号)
- ▶ 詳しくは、配布した sample-20141209.docx の内容を参照

MS-Word

□ MS-Word とは

○ Document and Word Processing Software - Microsoft Office

- ▶ いわゆる「ワープロ」ソフト(の代表格)
- ▶ MS-Excel と並んで MS 社の定番 (MS-Office の中核)
- ▶ 最新版は Office 2013

○ テキストでない文章の作成/印刷ソフト

- ▶ 文字情報だけでなく、文字の飾り情報なども含まれる
- ▶ vs. サクラエディタ (テキストエディタ)

□ WYSIWYG (ウィジウィグ)

○ What You See Is What You Get

- ▶ 見たまま(ディスプレイ上)が得られる(印刷される)

○ vs. TeX : 文章の形式を指定するので、見た目と印刷には差がある

○ 短い文章の作成には最適

- ▶ 「結果」を見ながら修正できる
- ▶ 思いとおりにレイアウトできる

Word vs TeX

□ Word vs TeX

- 共に Tool の利用目的は「資料」を作る事
- 機能的には被っている：どちらを使うべきか？
 - ▶ 結論は簡単：状況に応じて「使い分け」ろ (工学の発想)
- 得失
 - ▶ 文章の長さ：短い(W) / 長い(T)
 - ▶ 文章の再利用：使い棄て(W) / 使いまわし(T)
 - ▶ 表示への拘泥：細かい事が気になる(W) / おまかせ(T)
 - ▶ 連携：Office で閉じている(W) / 色々な tool と組合せたい(T)
 - ▶ 共有：色々な人(W) / 数学科・学術関係(T)
 - ▶ 数式：あまり使わない(W) / 沢山使う(T)
 - ▶ プログラム：しない(W) / する(T)
 - ▶ 発想：結果で考える(W) / 要因で考える(T)

PDF

□ PDF とは ?

○ Portable Document Format の事

- ▶ 色々な所で利用できる、資料の形式
- ▶ 最終的に印刷する形式 (どこでも同じ形になる事を保証)

○ 形式が公開されている

- ▶ 形式の仕様も公開 : 「独占」されていない
- ▶ 無料の viewer も公開 : adobe reader / 他に沢山

□ PDF File の作り方

○ 基本は Acrobat (有料 !!)

- ▶ PDF の公式編集ソフト

○ 他のツールからも作成できる

- ▶ TeX → dvi_{ps}pdfmx
- ▶ MS-Word

○ 配布形態として望ましい性質 (デファクトスタンダード)

- ▶ 環境に依存しない
- ▶ 特別な Tool が不要 (tool が free で公開)
- ▶ 編集が(ちょっと)困難 : オリジナルの権利を保持したい

演習

□ [演習 1] 講義資料の配布

○ 情報センターの公開講座(Office 2010 用)の配布資料

▶ (C) 2010-2014 恵藤浩朗 先生 (海洋建築学科) / 講義外配布禁止

▶ 配布 : 暗号フォルダ形式(TrueCrypt)

▶ パスフレーズ : skype で講義中に提示します

○ ms-word-2013.pdf (上記の劣化版)

▶ 内容の一部を抽出し、図を MS-Office 2013 の物に入れ替えた

□ [演習 2] MS-Word から PDF 形式への変換

○ [ファイル] → [エクスポート] → [pdf 形式で保存]

▶ PDF 形式のファイルを作成できる

□ [演習 3] 課題の作成

○ 講義資料に従ってパンフレットを作成

□ [課題提出]

○ 20141209-QQQQ.docx (QQQQ は学生番号) を提出

▶ 配布資料 (sample-20141209.docx) を参照の事